

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-2号)

令和元年6月14日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年6月12日に伊勢湾、6月13日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

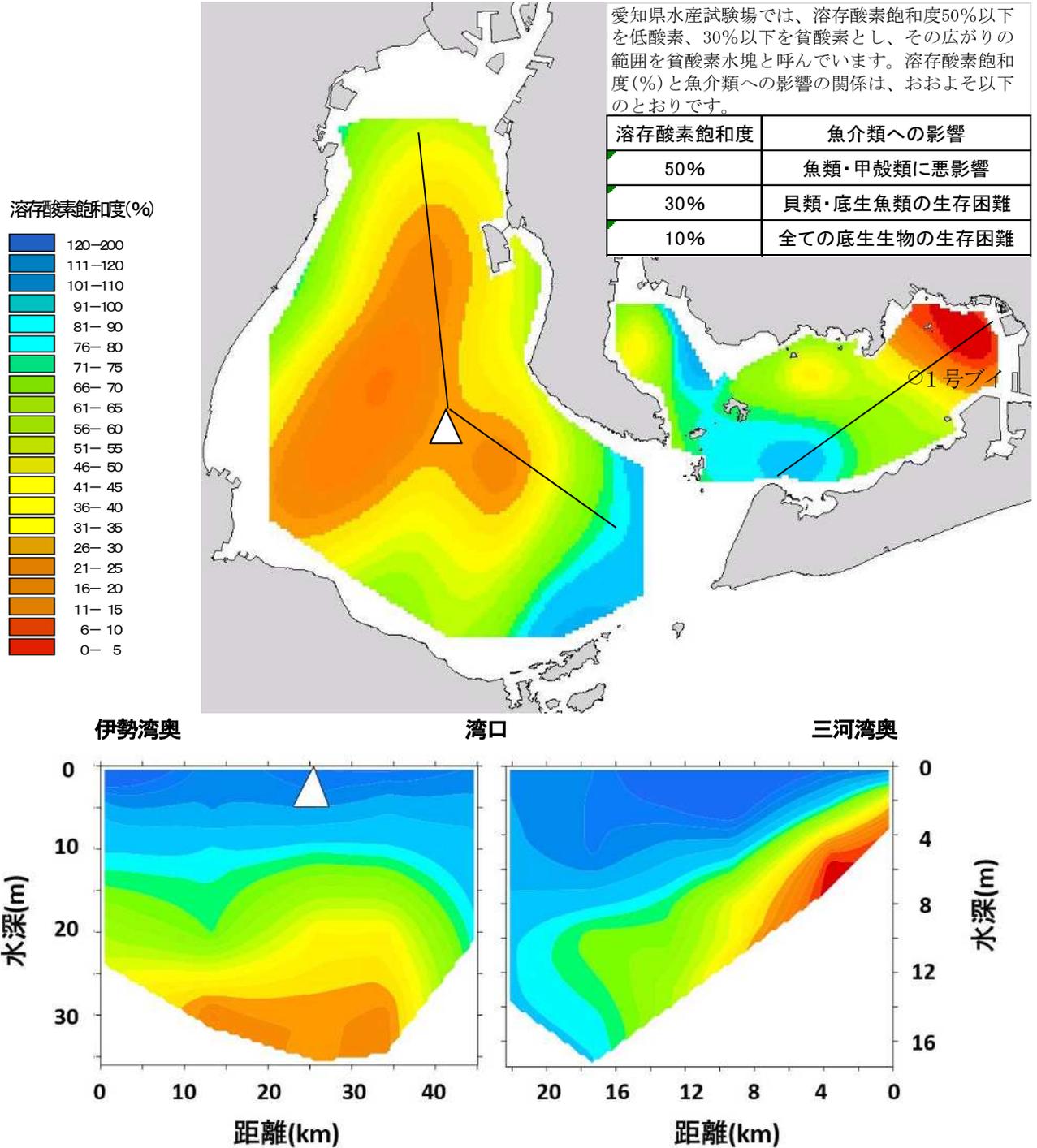


図1 伊勢湾(6月12日)・三河湾(6月13日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

6月12日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の湾央部から南西部にかけての底層で貧酸素水塊が確認されました。

梅雨に入り、今後は表層の水温上昇と塩分低下にともなう成層の発達により、底層で貧酸素水塊が発達すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.6~22.5	20.7~31.4
底層	15.4~19.9	30.4~34.0

三河湾

6月13日の調査結果を図1に示しました。前回観測された美浜町沖の貧酸素水塊は解消されている様子が観測されました。渥美湾奥部の底層では貧酸素化が進行していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、6月6日から13日にかけて貧酸素水塊の発達と解消が繰り返されている状態が観測されています（図2）。

週末の低気圧の通過にともない、貧酸素水塊は一時的に解消するものの、その後の成層の発達により、再び貧酸素水塊が形成されると思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	21.5~24.7	24.4~31.8
底層	19.6~21.8	31.0~33.2

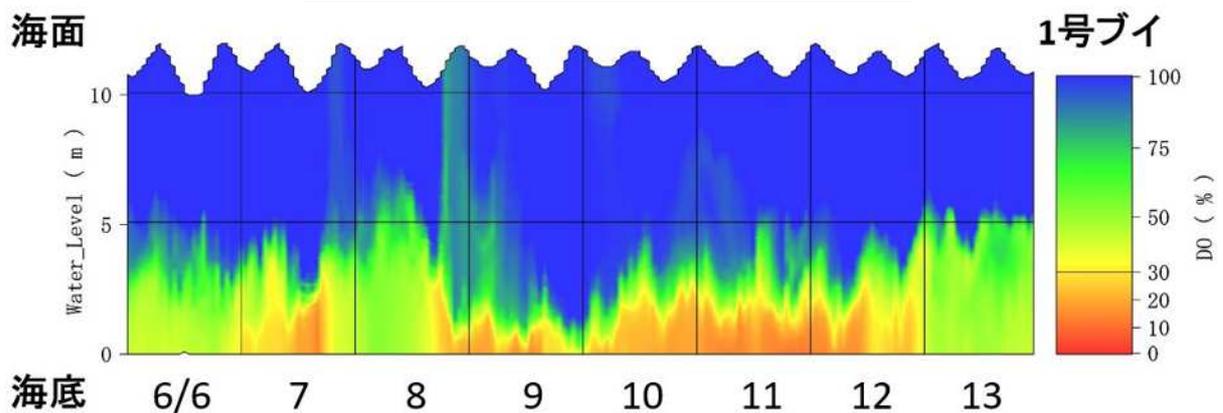


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

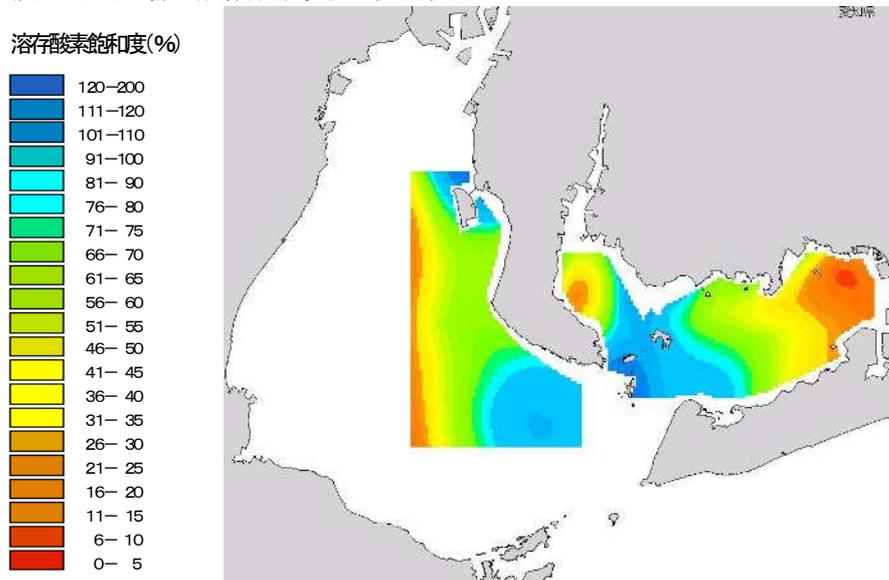


図3 令和元年6月3日 (伊勢湾)、6月4、5日 (三河湾)